

高岡の維持及び向上すべき歴史的風致

高岡は慶長14年（1609）、前田利長によって高岡城の城下町として開かれ、3代藩主・前田利常による、“城下町から、商工業の町へ”の転換政策により、今日まで続く『商都高岡』の礎が築かれました。このような成り立ちを受け発展してきた高岡には、金工、漆工、菅笠づくりといった歴史と伝統を反映した工芸技術が受け継がれ、また、高岡御車山祭や伏木曳山祭などの地域固有の祭礼・年中行事が今も営まれています。それらは山町筋や金屋町などの歴史的な町並みや歴史的建造物と相まって、「高岡らしい」風情、情緒、たたずまいを醸し出しています。



鋳物のまち金屋に見る歴史的風致

高岡鋳物発祥の地である金屋町には、利長に報恩感謝の念を表す御印祭があり、弥栄節を謡う様が、さまのこの町並みと相まって、鋳物師たちの心意気と情緒を醸し出している。



御印祭

商人のまちと祭礼行事に見る歴史的風致

開町以来の商人町である山町には、豪華絢爛な高岡御車山（祭）が守り伝えられ、山町筋の重厚な土蔵造りの町並みと相まって、壮麗かつ端正なたたずまいを醸し出している。



高岡御車山と山町筋

勝興寺と寺内町に見る歴史的風致

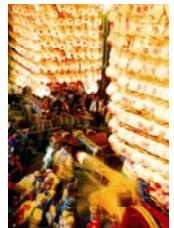
浄土真宗本願寺派の古刹である勝興寺では、御満座法要などの宗教行事が地域の人々の手によって執り行われ、寺院建築や伝統的な町家とともに独自の寺内町を形成している。



勝興寺本堂

北の玄関口伏木・吉久と祭礼行事に見る歴史的風致

古くから海運で栄えた伏木には、「かっちゃ」と呼ばれる山車をぶつけ合う勇壮な伏木曳山祭（けんか山）があり、和洋折衷建築と相まって、みなと町らしさが色濃く残っている。また、御蔵のあった吉久には、伝統的な町家が米商で栄えた歴史を今に伝えている。



伏木曳山祭

旧北陸道と菅笠づくりに見る歴史的風致

旧北陸道には、特産品の集散地として発展した在郷町があり、中でも、菅笠づくりで栄えた福岡町は、かつての菅笠問屋である伝統的な町家とともに、歴史的な風情を醸し出している。



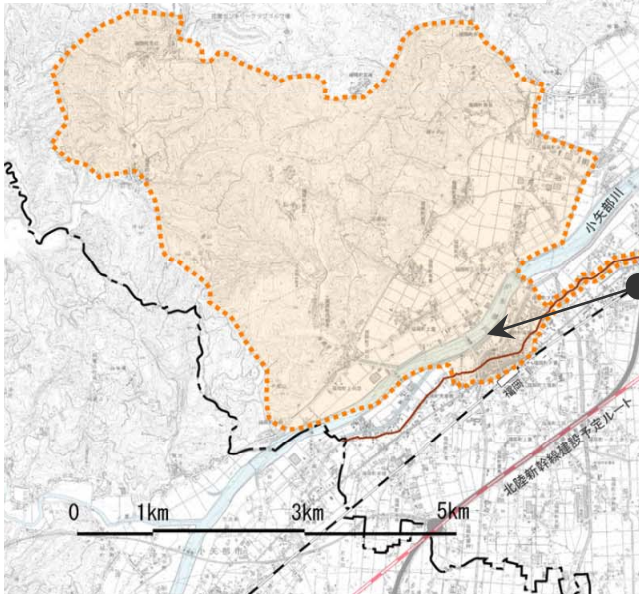
旧菅笠問屋と町並み

利長・利常への報恩感謝と前田家の遺産に見る歴史的風致

利長の菩提寺である瑞龍寺では、ひとつやいとや燭光能が執り行われ、八丁道や前田利長墓所とともに利長の遺徳を偲び、感謝と畏敬の念を表す荘厳な雰囲気満ちている。



瑞龍寺伽藍



高岡の重点区域における施策・事業概要

高岡御車山会館建設事業

山町筋において、景観阻害要因であった既存建築物を除却し、高岡御車山の展示等を行う高岡御車山会館を建設する。



既存建築物
整備予定地

金屋町キュポラ工場跡地整備事業

旧富田家キュポラ工場の復原修理を行い、見学・体験施設として活用するとともに、住民用駐車場として整備する。



工場跡外観

瑞龍寺参道整備事業

新幹線新駅から瑞龍寺までの約900m区間において、舗装・側溝・道路照明灯・防護柵等の修景整備を行う。



庄方用水

重点区域「旧高岡町往来地区」(旧北陸道)

県道岡・笹川線道路整備事業

県道岡・笹川線の(都)中央線区間において、カラー舗装や側溝布設替、無電柱化などの修景整備を行う。



旧北陸道
(福岡町)

重点区域「旧高岡町往来地区」(中心市街地)

凡例

重点区域
国指定文化財
県指定文化財
市指定文化財
登録文化財
旧跡
歴史的風致関連の建築物
旧北陸道
絵図に記載のある小路
庄方用水
重要伝統的建造物群保存地区
風致地区
景観形成重点地区等

重点区域「伏木・吉久地区」

市指定文化財保存修理事業

市指定文化財の旧秋元家住宅及び旧室崎家住宅について、経年劣化や損傷が見られることから、保存修理を実施する。



旧秋元家住宅

伏木気象資料館復原修理事業

旧伏木測候所の遺構である伏木気象資料館において、現在失われている望楼の復原を中心とした保存修理を行う。



伏木測候所

その他の主な事業

- ・登録有形文化財保存修理支援事業
- ・高岡御車山保存修理事業
- ・伏木曳山祭用具修理事業
- ・高岡地域伝統技術継承事業
- ・菅栽培調査事業
- ・福岡地場産業支援教育事業
- ・伝統工芸産業技術者養成スクール事業
- ・前田家関連史跡調査事業

他

景観形成に関する施策

〈景観計画の推進〉
・重点区域内において、景観形成重点地区のバッファゾーンとして色彩基準(マンセル値設定)や高さ基準を定める。

〈屋外広告物規制の強化〉
・引き続き、富山県条例に基づく違反屋外広告物(主に野立広告)の是正指導等適正化の徹底を図る。